

## 経営学学位プログラム（博士後期課程）

Doctoral Program in Business Administration

- 博士（経営学）
- Doctor of Philosophy in Business Administration

## 人材養成目的 / Program Educational Objectives

高度専門職業人の養成・再教育に対する社会的要請に応え、企業や社会が直面する新たな類型の問題について、経営学における高度な専門知識と客観的な経営データ分析能力に基づく総合的かつ高度な判断能力を持ち、適切な解決策を提示できる高度専門職業人、及びその経験を有効に活用し得る国際性を備えた研究者を養成する。

<b>養成する人材像</b>	博士（経営学）の学位に相応しい専門知識を有する人材を育成する。加えて、課題発見能力、概念構成能力をはじめとする論理的思考能力や課題解決のための発想力および十分な議論が可能なコミュニケーション能力を具備する人材
<b>修了後の進路</b>	多種多様な業界、職種をバックグラウンドとする現役の社会人が対象であり、在学中に修得した知見を礎として、企業・官庁・団体における経営管理、研究開発等様々な部門におけるジェネラリストまたはスペシャリストとして活躍する者の外、大学等の高等教育機関の教員として研究を行う者、あるいは、在学中や修了後に転職を指向する者や、起業する者など

学位授与の方針 / Diploma Policy

筑波大学大学院学則及び関係規則に規定する博士後期課程の修了の要件を充足したうえで、次の知識・能力を有すると認められた者に、博士（経営学）の学位を授与する。

	コンピテンス	評価の観点	対応する主な学修
知識・能力	1. 知の創成力：未来の社会に貢献し得る新たな知を創成する能力	①新たな知の創成といえる研究成果等があるか ②人類社会の未来に資する知を創成することが期待できるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、博士論文作成、研究計画発表・中間発表・ドラフト発表・予備審査・最終発表、学会発表等
	2. マネジメント能力：俯瞰的な視野から課題を発見し解決のための方策を計画し実行する能力	①重要な課題に対して長期的な計画を立て、的確に実行することができるか ②専門分野以外においても課題を発見し、俯瞰的な視野から解決する能力はあるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、研究計画発表・中間発表・ドラフト発表・予備審査・最終発表、学会発表等
	3. コミュニケーション能力：学術的成果の本質を積極的かつわかりやすく伝える能力	①異分野の研究者や研究者以外の人に対して、研究内容や専門知識の本質を分かりやすく論理的に説明することができるか ②専門分野の研究者等に自分の研究成果を積極的に伝えとともに、質問に的確に答えることができるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、研究計画発表・中間発表・ドラフト発表・予備審査・最終発表、学会発表等
	4. リーダーシップ力：リーダーシップを発揮して目的を達成する能力	①魅力的かつ説得力のある目標を設定することができるか ②目標を実現するための体制を構築し、リーダーとして目的を達成する能力があるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、学会での質問、セミナーでの質問等
	5. 国際性：国際的に活動し国際社会に貢献する高い意識と意欲	①国際社会への貢献や国際的な活動に対する高い意識と意欲があるか ②国際的な情報収集や行動に十分な語学力を有するか	大学院共通科目（国際性養成科目群）、専門科目、ビジネスマネジメント輪講での外国語文献・国際学術論文輪講、ビジネスマネジメント講究での国際学術論文執筆演習や国際会議発表演習等

	コンピテンス	評価の観点	対応する主な学修
知識・能力	6. 経営に関する研究遂行能力：経営学の高度な専門知識を習得し、高度専門職業人として経営学的観点と客観的な定性分析・定量分析に基づく研究を遂行できる能力	①重要な課題に対して、専門知識に基づいて長期的な研究計画を立てることができるか ②研究計画を自立して的確に実行することができるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、研究計画発表、ドラフト発表、学会発表等
	7. 経営に関するエビデンスベース分析能力：問題分析に際して経営学分野に含まれる多面的な観点と高度な専門知識に基づく客観的な定性的・定量的データを用いた分析が行える能力	①重要な課題に対して、客観的事実を収集することができるか ②収集した客観的事実をもとに分析が行えるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、中間発表、ドラフト発表、予備審査、最終発表、学会発表等
	8. 経営に関する課題解決能力：問題解決に際して経営学分野に含まれる多面的な方策と高度な専門知識を組み合わせた経営分析モデルを構築し解を提示できる能力	①定量的あるいは定性的な分析手法の理論を理解し、適切に適用できるか ②得られた結果を解釈し、自らの言葉で表現し、他と議論することができるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、中間発表、ドラフト発表、予備審査、最終発表、学会発表等

	コンピテンス	評価の観点	対応する主な学修
知識・能力	9. 経営に関する知の伝達能力：学術・実務いずれの場においても経営学の高度な専門知識と研究成果を的確に伝達し発展させる能力	①専門知識の本質を論理的に説明することができるか ②専門知識の本質を他と共有することができるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、サーベイ発表、学会発表等
	10. 経営に関する知の伝承能力：自らの知見や経営学の高度な専門知識、研究成果を受け継ぎ発展させ得る後進を育てられる能力	①専門知識の本質を理解することができるか ②専門知識を運用し、研究に反映できるか	ビジネスマネジメント特別演習、ビジネスマネジメント講究、専門科目、研究計画発表、ドラフト発表、学会発表等
学修成果の評価に関する方針	学修成果の評価は「達成度評価シート」に基づく達成度評価によって以下の段階毎に学位授与の方針に基づくコンピテンスの修得状況を客観的に確認し評価する。達成度評価の段階・方法を以下に示す。 ディプロマ・ポリシーに係る 10 項目の知識・能力について、研究計画発表時、課程 2 年次の終了時、そしてドラフト発表時に、それぞれの評価の観点に基づいた達成度評価を行う。		
学位論文に関する評価の基準	主査 1 名および副査 4 名以上（論文審査委員会の設置母体となる組織の専任教員以外を 1 名以上含む）の論文審査委員会の合議で行う。 次の評価項目 1. 研究課題の意義、 2. 内外の先行研究の包括的な理解と把握、 3. 研究方法の厳密な提示とその妥当性、 4. 論証方法や結論の妥当性と意義、 5. 論文の形式・体裁、 上記の評価項目を内容として含む学位申請論文を、学位論文としての水準の観点から、論文審査ならびに最終試験において評価し、合否の判定を行う。		

### 教育課程編成・実施の方針 / Curriculum Policy

経営学分野に関するより高度で専門的な知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する幅広い基礎的素養、ビジネスおよび人文社会における広い視野、社会の多様な場での活躍を支える汎用的知識・能力を涵養するように適切に配慮して、理論と実践のいずれか一方に偏ることない体系的なカリキュラムを提供する。特に、ビジネス科学をめぐる現代的な課題への理解を深める機会を積極的に設ける。また、社会人のための夜間大学院として、平日の夜間及び土曜日を基本とした開講時間帯の中に科目を合理的に配置するなど、効率的で実効的な教育課程を編成する。

<p><b>教育課程の編成方針</b></p>	<p>経営学において一般的にコア領域とされる経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスを中心に据えつつ、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理学やシステム科学、情報学関連領域の講義科目を配置するとともに、特別研究や講究等を介して、ディプロマ・ポリシーに示した能力を育成する。研究面では、研究計画、サーベイ論文、中間論文、ドラフト、予備審査、最終試験からなる6ステージ制によるマイルストーンを用意することで、計画的な研究活動を支援する。複数教員による指導体制を通して、多角的な思考能力を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「経営戦略総論」等の専門科目群により、研究遂行能力、エビデンスベース分析能力や課題解決能力を身につける。</li> <li>- 「ビジネスマネジメント特別演習」等の研究科目群により、研究遂行能力、エビデンスベース分析能課題解決能力に加え、知の伝達能力や知の伝承能力を身につける。</li> <li>- 学生の専攻分野を軸として、関連する分野の基礎的素養や広い視野、汎用的知識・能力の涵養に資するよう、研究群共通科目、学術院共通専門基盤科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</li> <li>- 研究指導により、研究遂行能力、エビデンスベース分析能力、課題解決能力に加え、知の伝達能力や知の伝承能力を身につける。</li> </ul>
<p><b>学修の方法 特色的な教育</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 博士論文研究の推進に必要な専門科目群を、指導教員の指導・助言のもと、履修する。</li> <li>- 経営学分野の博士として必要となる広範な専門的知識や能力を、履修者の興味・関心に基づいて履修する。</li> <li>- 研究指導の面では、研究計画、サーベイ論文、中間論文、ドラフト、予備審査、最終試験からなる6ステージ制によるマイルストーンを用意することで、計画的な研究活動を支援する。複数教員による指導体制を通して、多角的な思考能力を身につける。</li> </ul>

### 入学者受入れの方針 / Admission Policy

<p><b>求める人材</b></p>	<p>社会人としてビジネスにおける問題意識に根ざした博士論文研究を実践する上で、現代の経営学分野の先進的な学術上のアプローチに強い関心があり専門的な知識・能力を有する人材を求め。加えて、研究を計画し遂行する過程では、自ら調べたり考えたりする積極的な姿勢を有し、担当業務や専門領域を超えて幅広い関心を持つ人材を求める。</p>
---------------------	--

<b>入学者選抜方針</b>	以下を評価し、総合的に判定する。 - 提出論文と研究計画書：研究目的、研究方法の妥当性、研究の有用性・新規性ならびに文章表現能力 - 外国語試験（TOEIC で代替）：英語でのコミュニケーション能力 - 面接試験：プレゼンテーション能力、研究意欲やディスカッション能力
----------------	---

### 学修支援体制 / Learning Support Framework

<b>学修支援</b>	学会発表旅費補助、英文校正費補助、財務データベースを用意することで、学生の意欲向上に努めている。
<b>学生同士の交流機会</b>	グループワークを取り入れた授業や、学生の研究発表に対して学生同士で意見交換を行う授業、学生からの積極的な意見を募る学生研究発表会、複数の学生が合同で研究指導を受ける機会を設けることで、学生同士の交流を促している。
<b>教員との交流機会</b>	学生から学位プログラムの教育全般についてアンケートで意見を聴取し、その結果を踏まえて学生と教員が対話する機会を設けている。

### 教育の質の保証と改善の方策 / Approaches to Assuring and Enhancing Educational Quality

**[知識・能力]**

学位プログラム教育会議において、学生の学修状況に照らし合わせて、ディプロマ・ポリシーに係る 10 項目の知識・能力の評価の観点について点検を行っている。

**[研究指導と論文審査]**

学位プログラム教育会議において、在学生の発表会ステージ進捗状況と修了率を確認し、研究指導と論文審査に関する問題の発見と改善の検討を行っている。

**[単位]**

各専任教員が、担当科目の到達度評価分布を検証することで、到達度評価分布の偏りと、科目の到達目標と教授内容・方法の整合性を確認している。また個々の検証結果は学位プログラム教育会議において共有し、教育活動の改善に資するものとしている。

**[カリキュラムと学生支援]**

カリキュラム・マップの確認、在學生に対するアンケート、修了後 2 年経過した修了生へのアンケート、企業等関係者への意見聴取、そして学生の外国語論文件数の確認といった情報をもとに、学位プログラム教育会議において、カリキュラムの構成や学生支援活動の改善を行っている。

**[FD]**

FD 担当教員が、年度始めに FD 実施計画を立て、組織の教育課題の改善を目的とした活動を行っている。